

特集

「確かな学力」の着実な定着を目標として とわだっこ学力向上アクションプランの策定

はじめに

近年、子どもたちの学力低下を指摘する声が、学校現場からだけでなく、経済界などを含め諸方面から聞かれるようになり、学力をめぐる論争が過熱ともいえるほど活発化しています。

この状況は、従来からあった「ゆとり教育」をめぐる議論に加え、全国的にはOECD（経済協力開発機構）が15歳の子どもの学力を対象に実施した国際的な学力調査の結果（平成15年度調査において、読解力を中心に学力が低下傾向）が、一つのきっかけになった感があります。

論争の中身は、「ゆとり教育」の是非に関するものが多い一方で、社会環境、経済環境の変化が子どもたちの生活や学力定着に多大な影響を及ぼしている点も見逃すことはできません。

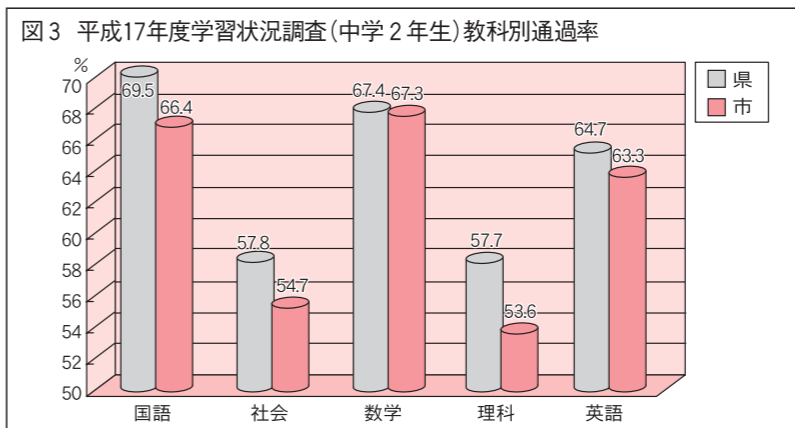
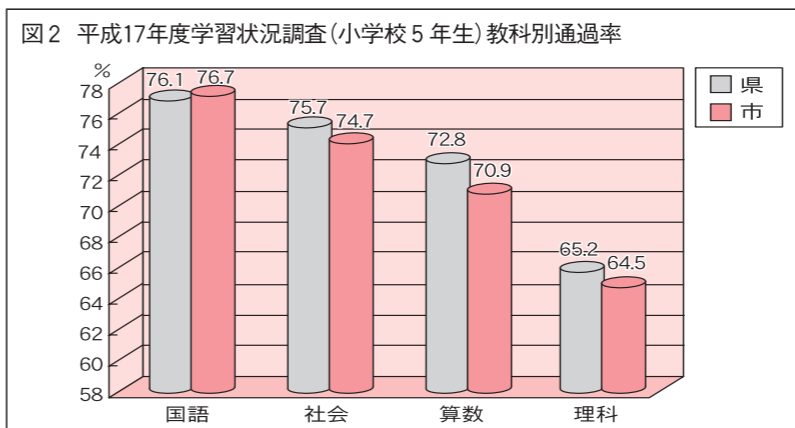
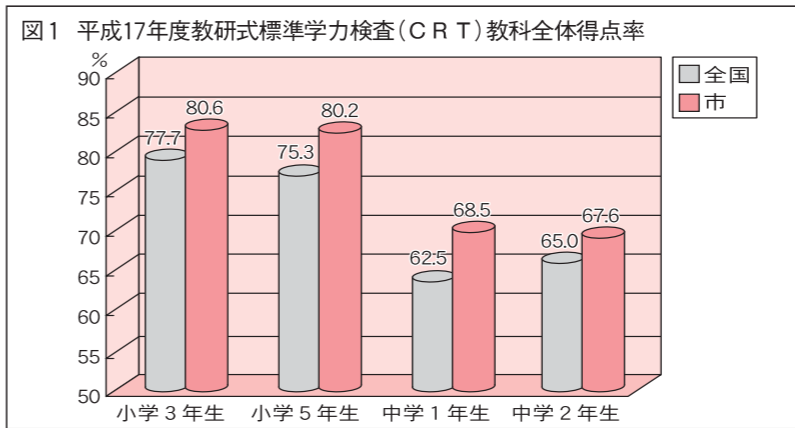
教育委員会では、こうした現象や背景を踏まえながら、今後の子どもたちの学力向上はいかにあるべきかとわだっこ学力向上アクション

プラン」としてまとめました。

このプランは、おおむね5年間をめどに、小・中学校における目標と取り組むべき方向性を示すとともに、学校、家庭、地域社会および教育委員会が、目標達成のため一体的な取り組みを行っていくためのものです。

市の現状

市の現状を見ると、全国規模で実施している平成17年度CRT検査（標準学力検査）の結果は、図1のように小・中学校とも全国標準に比べて高い得点率を示しています。



県で実施している平成17年度学習状況調査で、十和田市の小学5年生は、図2で見るとように4教科すべてにおいて、県の平均通過率（教科の全小問総正答数÷教科の全小問総解答数）とほぼ同程度となっています。また、中学2年生は、図3で見ると

ように5教科のうち数学と英語の2教科が県とほぼ同程度、国語、社会、理科の3教科は県より下回っており、今後も、子どもたち一人一人に合った、きめ細かな指導が必要であるというのが現状です。

目標の設定

教育委員会では、子どもたちの学力や進路の状況を踏まえ、確かな学力を身につけさせ、希望する進路を達成できるように、学力の定着状況を的確に把握し、子どもたち一人一

人に応じた指導へつなげていくことが重要と考えています。

こうしたことから、小・中学校については学力の定着に関する検証可能な目標を設定します。目標値は、現状値を踏まえ、今後5年間において平均通過率の5ポイントのアップを目指して設定します。

教育委員会の具体的な取り組み

教育委員会では、目標の達成に向け、学力向上に関する広範な施策を計画的かつ総合的に推進します。

①学力の確かな把握

確かな学力を育成していくために、子どもたち一人一人の学力の実態を客観的かつ継続的に把握していく。その結果を授業改善に生かし、子どもたち一人一人の学力を向上させる。

- 青森県学習状況調査の実施
 - 全国学力・学習状況調査の実施
 - 学習状況調査報告書の配布
 - 支援体制の整備
- 確かな学力の育成を図るために、学校に対して人的・物的支援を行う。
- アシスタントティーチャー派遣事業
 - 特別支援教育支援員派遣事業
 - 学校図書の実施
 - 小・中学校コンピュータ更新および校内LAN整備
 - 教育研修センターの整備

③進路指導の充実強化

小・中学校においては、一人一人の夢や希望を幅広く、進路への関心や意欲を育成していくため、学級活動などにおいて系統的・段階的に指導するとともに、家庭や地域社会と連携しながら、職業体験などの体験的な学習を展開するため、進路指導の研修を行う。

- 研修センターにおけるキャリア教育の研修実施

④学校間の連携の強化

小学校から中学校への進学時点において発生する課題や問題点を解決するため、小・中学校の教員が連携し互いの学校を行き来して授業参観や合同研修を行ったり、児童の中学校の授業見学を促進したりする。また、小学校での英語活動など、小・

中学校を通じた学力の向上を図る。

- 計画訪問時に学校間の連携指導
- 幼小連携教育研究会の実施

⑤家庭・地域の教育力向上支援
確かな学力の育成を図るためには、学校のみならず家庭や地域社会が果たすべき役割は大きいものがある。学力と基本的な生活習慣とは相関関係があるという指摘もあり、教育の原点である家庭の役割は特に重要である。

また、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進するため、放課後や週末に小学校の余裕教室などを活用し、地域のかたがたの参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを実施する。

- 家庭教育支援総合推進事業
- 放課後子ども教室推進事業

教育委員会は、目標の達成状況の検証を行うとともに、社会経済情勢や教育改革の動向を踏まえ、適切にプランの見直しを行っていききたいと考えています。

目 標

青森県学習状況調査における各教科の平均通過率

- ・小学5年生 76.0%
(平成17年度青森県学習状況調査での市の現状71.6%)
- ・中学2年生 65.0%
(平成17年度青森県学習状況調査での市の現状60.7%)

(注)目標値は、現状値を踏まえ、今後5年間において平均通過率の5ポイントのアップを目指して設定する。



地域ボランティアの協力で、宿題や遊び交流を実施している深持小学校の放課後クラブ

問い合わせ先

指導課・生涯学習課(☎019-551-1111)